

東京電力の老朽火力発電所更新に関する提言

資料5

- 1 新電力を育てなければ、東電は再びガリバーに（選択肢なき独占的市场）
- 2 新電力を育てる**非対称規制**が不可欠（複数契約、託送料・インバンス料金の抑制等）
- 3 加えて、老朽火力更新も一部は、**新電力育成基地**に（定期借地権設定）
- 4 新電力等が実施可能な10万kwから50万kw級に分割（運営実績、資金量見合い）
- 5 さらに、新電力を**供給計画**に位置づけ、資金確保のため**政府保証等**を実施すべき
- 6 携帯電話市場のように**新電力シェア30%程度**を目指すような政策展開をすべき

※8ヶ所、2,000万kw級の更新が東電の電力確保のためだけならば、再び独占的市场へ

